

ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会  
会長 尾崎 茂樹

今年も昨年のように暑い夏になっているのでしょうか。この御挨拶をしたためているのが6月上旬ですが、年毎に季節感  
は確かに変わってきていることを感じております。

改めまして、北海道高等学校教育研究会の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

本研究会「高教研」は、北海道高等学校長協会のもとに組織され、1964 年1月に初めて開催され、今年で 61 年目を迎  
えます。特に本年度は、節目である昨年度の 60 周年記念大会から新たに歩みだした、大切な第一歩の大会開催に向け、  
質の高い研究大会の実現を目指しております。

3年前になるでしょうか、本会の会長であられました、林会長がこのような文章を本会報に寄稿しております。「この度の  
コロナ禍では、長期にわたる休校や教育活動の制限により、私たち教職員だけでなく、世間の多くの人々が、「学校」の果  
たす役割や、そこに子どもたちが集って育ちあうことの意義を改めて感じました。同じように、私たちは、高教研の役割や意  
義についても、再確認できたように思います。高教研事業は、広域分散型の本道の高等学校の先生方にとって、横のつな  
がりを作り、互いに学びあう大切な研修の機会であり、未来の生徒や先生方のためにも、今後も事業を存続させていき  
たいこと、また、先生方が互いに顔を合わせて情報交換や研究協議を行うことは非常に重要であり、可能な限り実際に集ま  
って実施したい ~後略~ 」私は、この文章を改めて読み返し、我々教員の根幹は研修であり、自己研鑽である。一人の  
大人として、生涯学び続けるロールモデルとしての姿を生徒に見せることはもとより、学校が多様な専門性を有する質の  
高い教員集団となるよう、我々教員自身が常にバージョンアップしていかななくてはならない。そのためにも本会の存在意  
義を再確認したとともに、次世代に無理のない形で繋げていかななくてはならないと、本研究会への思いを強くいたしました。

この大会は、1日目の全体会で日本の社会や文化、科学、教育などの分野で活躍されている著名な講師の講演をお聞き  
し、2日目の教科部会で教科に関する先進的な研究や教育実践についての研修を行っています。今年度の全体会は、大  
阪大学名誉教授であり、RISTEX 社会技術研究開発センター長でもあられます小林傳司氏を講師にお迎えします。  
RISTEX のホームページにある小林先生のご挨拶を一部紹介いたします。「本センターが取り組む社会課題解決のため  
の研究は、基本的に、「解決に必要な学問を動員する」ということにつきます。そもそも、ブダペスト宣言の Science は自  
然科学、技術、そして人文社会科学を包含する意味で使われています。本センターもその意味で、理系や文系といった学  
問分類にとらわれないファンディングの方針を採用しています。本センターの日本語名称に現れる「社会技術」という表現  
は、こうした学問分類にとらわれない研究手法という考え方を示すものです。それに加え、近年では、地球環境問題や  
SDGs をはじめとする社会課題が複雑になっています。研究成果を応用すれば解けるというものではなくっており、社  
会的課題に直面している多様な人々を巻き込んだ研究が必要だという認識が広がりつつあります。21 世紀に必要な「社  
会に貢献する科学」の在り方を見据え、社会課題の解決に必要な学問を動員し、新たな研究方法の開発と活用を行うこと、  
これが本センターの使命だと考えています。」きつと、先生のご講演が自分の頭の中を整理し、自分事の現実として感じ取  
ることに繋がり、ひいては本道の生徒に還元できるのではないかと期待しています。

今後も北海道高等学校教育研究会が、全道各地で高校教育に邁進される多くの皆さんを互いにつなぐ素晴らしい機会  
であり続けることと、ここで生まれる新たな知見が北海道の高校教育の向上の一助となることを祈念し、挨拶といたします。

# 令和6年度 総会 報告

5月7日の午後1時30分より、ホテルライフオーツ札幌において、本年度の総会・第1回研究協議会が開かれました。全道から地区支部長と各教科部会長が集まり、令和5年度事業の実施報告・令和6年度事業計画の審議、役員の改選、研究協議が行われました。以下、その概要をお知らせします。

## (1) 令和5年度 事業実施報告

- ア 会報 第119号発行 (令和5年7月)
- イ 大会案内発行 (令和5年11月)
- ウ 大会要項発行 (令和6年1月)
- エ 第61回北海道高等学校教育研究大会(60周年記念大会)報告
  - ① 第1日目 全体集会 (令和6年1月11日(木)) カナモトホール(札幌市民ホール)
  - ② 第2日目 教科別集会 (令和6年1月12日(金)) 各会場  
情報部会は10日(水)に開催
- オ 研究紀要 第61号発行 (令和6年3月)
- カ 会報 第120号発行 (令和6年3月)

## (2) 令和6年度 事業計画

### ア 第62回北海道高等学校教育研究大会

#### ① 全体集会

期 日 令和7年1月8日(水)

会 場 カナモトホール(札幌市民ホール)

研 究 主 題 北海道の新たな時代を拓く高等学校教育の創造

日 程

9:00	12:00	13:00	13:40	15:40
	準 備	受 付	開 会 式	講 演

運 営 大会役員

講 演

演 題 「データは大切、そしてデータを疑うことはもっと大切：総合知の視点から考える」

講 師 小林 傳司(こばやしただし) 氏

大阪大学名誉教授、大阪大学 CO デザイン・センター特任教授、  
JST 社会技術研究開発センター長、日本学術会議アドバイザー

1954年京都市生まれ。78年京都大学理学部卒業。83年、東京大大学院理学系研究科博士課程修了。専門は科学哲学、科学技術社会論。福岡教育大学、南山大学を経て、2005年4月より大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授。2015年から19年、理事・副学長を経て2020年退職。

社会における科学技術のあり方について、専門家と市民が同じテーブルで理解を深め提言する「コンセンサス会議」を日本に紹介、実施。01年、科学技術社会論学会の設立にかかわる(初代会長)。著書に「公共のための科学技術」(編著)玉川大学出版会、「誰が科学技術について考えるのか」名古屋大学出版会、「トランスサイエンスの時代」NTT出版など。

司 会 者 石狩支部

#### ② 教科別集会

期 日 令和7年1月9日(木)

会場・テーマ 教科部会ごとに決定

日 程 (概 要)

9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受 付	講演又は 研究協議	昼 食 (休 憩)	講演又は 研究協議	部会 ・総会

※ 部会により時程は多少異なります。

講 師 各教科部会で決定(委嘱状・依頼状については、教科部会事務局で発送)

令和6年度北海道高等学校教育研究会 教科別テーマ・会場

部 会	会 場	研 究 テ ー マ
国 語	北海商科大学 多目的ホール	これからの時代に求められる資質・能力を育む国語教育 ことばでつなぐ探究的な授業づくり
地歴・公民	北海道有朋高等学校	「社会的な見方・考え方」を育てる ICT を効果的に活用した授業の在り方
数 学	札幌エルプラザ 教育文化会館 いずれか	数学的活動を充実させ、数学的に考える資質・能力を育成する数学教育
理 科	札幌医学技術福祉歯科専門学校	自然科学に関わろうとする主体性を育成するための理科教育 実験実習を核とした探究活動の指導法についての研究・実践 生徒の学びを深める学習評価の開発・実践
保健体育	道立総合体育センター(きたえーる)	生徒自ら課題発見・解決を目指した保健体育事業 ～豊かなスポーツライフの継続を目指して～
養 護	かでの2・7(北海道立道民活動センター)	現代的な健康課題の解決に向けた学校保健活動の推進をめざして
芸 術	札幌大谷大学	豊かな心や創造性を涵養する芸術教育
英 語	北星学園大学	21世紀に生きる地球市民をはぐくむ英語教育 English Education in the 21st Century : Fostering Global Citizenship 新しい流れに対応する授業をめざして In Pursuit of New Wave of English Teaching
家 庭	未 定	生涯を見通してよりよい生活を創造する力を育む家庭科教育
農 業	かでの2・7(北海道立道民活動センター) 820 研修室	持続可能な農業生産・社会形成に対応した農業教育の推進 ～生産力向上、DX化の進展に寄与する地域産業人育成に つなげる学校農場づくり～
工 業	北海道札幌琴似工業高等学校	社会の発展に貢献する工業教育の創造と実践
商 業	北海道大学地球環境科学院 D201 大講義室	未来を拓く有為な人材を育成するビジネス教育
水 産	北海道小樽水産高等学校	変化の激しい時代をきり拓く水産・海洋教育はいかにあるべきか
情 報	北海道札幌北高等学校	形成的評価を活用して知識を深めて思考力を鍛える

- ◎ 参加料 会員 2,000 円 非会員 3,500 円 一般 1,000 円(全体集会)1,500 円(教科別集会)  
 高等学校教員は全体集会のみ、教科別集会のみ参加でも参加料は同じです。  
 また、当日参加も参加料は同じです。

イ 研究紀要発行

第 62 号 : 令和 7 年 3 月

ウ 会報発行

- ① 第 121 号 : 令和 6 年 7 月 内容: 令和 6 年度総会報告  
 ② 第 122 号 : 令和 7 年 3 月 内容: 第 62 回研究大会報告及び第 62 回研究大会の概要について  
 PDF 化したデータを共有する。協賛団体、来賓への配布分のみ印刷

令和 7 年度 第 63 回北海道高等学校教育研究大会の開催日について

令和 8 年 1 月 7 日(水) 全体集会  
 令和 8 年 1 月 8 日(木) 教科別集会

研究紀要執筆者募集要項

教科での研究紀要は各教科部会へ、教育一般は各地区支部へ申し出て下さい。たくさんのご応募をお待ちしています。なお執筆者は本研究会の会員に限ります。(すみやかに会員登録をお願いします)

① 原稿募集の種類

(ア)教科は、1教科につき 10ページ以内[横書き 横24文字2段組み1,000行]  
 (原稿の集約・審査は各教科部会長の担当です)

(イ)教育一般は、1編につき 10ページ以内[横書き 横 24 文字 2 段組み 1,000 行]  
 (原稿の集約・審査は各地区支部長の担当です)

② 執筆申込締切日 教科部会・地区支部まで 8 月 28 日(水)

執筆者本部決定 9 月 11 日(水) 原稿提出締切 11 月 6 日(水)

※ 今年度から研究紀要は各校 1 冊ずつと執筆者分のみ印刷。PDF 化したデータを共有することとします。

# 全体講演の歩み

～ 第30回大会以降 ～

回	開催年度	講師氏名	演題
31	平 5	C.W.ニコル (作家) 若井 邦夫 (北海道大学教育学部教授)	自然と人間 子どもが発達するとき -必要とあそびのあいだ-
32	平 6	中村雄二郎 (明治大学法学部教授) 杉岡 昭子 (札幌国際プラザ専務理事)	共通感覚と自己表現 「故郷忘れがたく候」の旅
33	平 7	河合 雅雄 (京都大学名誉教授/日本福祉大学教授) 山中 燐子 (北海学園大学人文学部教授)	人間 -進化の道からずれた動物 世界の中の日本と日本人
34	平 8	佐原 真 (国立歴史民俗博物館副館長) 横湯 園子 (北海道大学教育学部教授)	大むかしと現代 子どもを観る目 -教育臨床心理の立場から-
35	平 9	浅井 信雄 (神戸市外国語大学教授) 中野 武房 (北海学園北見大学教授)	国際化と私たちの暮らし カウンセリングを体験してみませんか
36	平 10	梶田 叡一 (ノートルダム女子大学学長) シンポジウム	変革期の高校教育を考える 「今こどもの心は」 -問題行動の背景を探る-
37	平 11	養老 孟司 (北里大学教授)	からだと脳
38	平 12	河合 隼雄 (京都大学名誉教授)	青春の夢
39	平 13	阿部 謹也 (共立女子大学学長)	日本社会の構造と教育
40	平 14	五木 寛之 (作家)	日本人のころ
41	平 15	毛利 衛 (宇宙飛行士/日本科学未来館館長)	宇宙の視点からの教育
42	平 16	寺島 実郎 (三井物産戦略研究所所長 /日本総合研究所所長)	世界潮流と日本および北海道の進路
43	平 17	吉村 作治 (早稲田大学国際教養学部教授)	夢の実現の仕方
44	平 18	桜井 進 (河合塾、早稲田塾、数学講師 /sakurAi Science Factory 主催)	サウンド オブ サイエンス ジョン・ネイピア ～対数誕生物語
45	平 19	金子 勝 (慶應義塾大学経済学部教授)	ニュースの嘘と教育
46	平 20	阿刀田 高 (作家) 阿刀田慶子 (朗読家)	アイデアの発見
47	平 21	福岡 伸一 (青山学院大学理工学部化学・生命科学科教授)	科学のおもしろさをどう伝えるか
48	平 22	見田 宗介 (東京大学名誉教授)	現代社会はどこに向かうか
49	平 23	内田 樹 (神戸女学院大学名誉教授)	転換期の教育 -グローバルズムに抗して
50	平 24	川口淳一郎 (宇宙航空研究開発機構教授)	「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、 その7年間の歩み
51	平 25	古賀 稔彦 (柔道家、古賀塾塾長、医学博士)	夢の実現 ～挑戦することの大切さ
52	平 26	大棟 耕介 (NPO 法人 日本ホスピタル・クラウン協会理事長 愛知教育大学非常勤講師)	心を開き、活気を生み出す『笑い』の力 ～ホスピタル・クラウンの現場から～
53	平 27	溝上 慎一 (京都大学高等教育研究推進センター教授 大学院教育学研究会(高等教育開発論講座)兼任)	社会に繋がる学習 -アクティブラーニングとトランジション-
54	平 28	中島 岳志 (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)	自主規制はいかにして起きるのか
55	平 29	児美川孝一郎 (法政大学キャリアデザイン学部教授)	地域の未来をつくるキャリア教育の創造 - 新学習指導要領が示唆すること -
56	平 30	新井 紀子 (国立情報学研究所社会共有知研究センター センター長・教授 一般社団法人教育のための科学研究所代表理事・所長)	AI時代の教育～社会はどこへ向かうか
57	令 元	齊藤 誠一 (北海道大学北極域研究センター 研究推進支援教授)	これからの北極域研究 - 気候変動とSDGsの視点から-
59	令 3	安田 登 (能楽師(ワキ方、下掛宝生流)米国Rolf Institute 公認ロルフアー (米国のボディワーク、ロルフイングの専門家) 関西大学特任教授)	未来へつながるリベラルアーツ - Society 5.0 時代の古典の価値
60	令 4	長谷山美紀 (北海道大学副学長(IR、数理データサイエンス) 大学 院情報科学研究院長 創成研究機構データ駆動型融合研究創発拠点長)	データサイエンス・AI教育 ～これからの北海道を考える～
61	令 5	伊藤 亜紗 (東京工業大学化学技術創成研究院 未来の人類研究センター長リベラルアーツ研究教育院教授) 山本 貴光 (東京工業大学化学技術創成研究院 未来の人類研究センターリベラルアーツ研究教育院教授) 多久和 理実 (東京工業大学化学技術創成研究院 未来の人類研究センターリベラルアーツ研究教育院講師)	ポストコロナでよく生きるために ～「利他」から見えてくる景色とこれからの 高等学校教育～ (鼎談型講演)

令和6年度 北海道高等学校教育研究会 役員・地区支部長・教科部会長・本部事務局

〔役員〕

会 長	尾崎 茂樹	(札幌旭丘)			
副 会 長	川村 広幸	(札幌琴似工業)			
	西岡 憲廣	(札幌山の手)			
	成田 豪	(石狩翔陽)			
	杉本 式史	(札幌新川)			
監 事	矢田 春義	(札幌新川)			
	松山淳一郎	(札幌東商業)			
顧 問	綾井 健二	武田 泰明	田村 勸	島 隆	
	青塚 健一	金間 正克	宮浦 俊明	守屋 開	
	佐々木高至	石黒 清裕	林 恵子	相沢 克明	

〔地区支部長〕

〔石狩〕	三村 素道	(札幌月寒)
〔道南〕	花松 均	(市立函館)
〔後志〕	本谷 一	(ニセコ)
〔空知〕	伊勢 一哉	(岩見沢西)
〔道北〕	中島 泰彰	(旭川工業)
〔オホーツク〕	森山 忍	(常呂)
〔釧根〕	山本 十三	(厚岸翔洋)
〔十勝〕	藤田 博史	(芽室)
〔日胆〕	木村 嘉延	(えりも)

〔教科部会長〕

〔国語〕	渡辺 淳一	(岩見沢東)
〔地歴・公民〕	阿部 穰	(有朋)
〔数学〕	宮澤 一	(札幌南)
〔理科〕	森田 泰史	(紋別)
〔保健体育〕	俵 英生	(恵庭南)
〔養護〕	三村 素道	(札幌月寒)
〔芸術〕	小島 政裕	(幕別清陵)
〔英語〕	木幡かおる	(千歳)
〔家庭〕	佐紺 摂子	(森)
〔農業〕	加藤 和則	(ニセコ)
〔工業〕	川村 広幸	(札幌琴似工業)
〔商業〕	桑島 宏明	(札幌啓北商業)
〔水産〕	亀山 喜明	(小樽水産)
〔情報〕	朝倉 洋一	(室蘭東翔)

〔事務局〕

事務局 長	小泉 泰之	(札幌旭丘)		
事務局 次長	網谷 格	(札幌旭丘)	中辻 拓実	(札幌旭丘)
	関井 絵里	(札幌旭丘)	松林 憲人	(札幌旭丘)
	中川 里沙	(札幌旭丘)		

〔地区支部事務局〕

地区支部	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
石狩	札幌月寒	石田 毅	062-0051	札幌市豊平区月寒東1条3丁目	011-851-3111	011-851-3112
道南	市立函館	渡部 慶一	040-0002	函館市柳町11番5号	0138-52-0099	0138-52-9933
後志	ニセコ	新濱 是彦	048-1501	虻田郡ニセコ町字富士見141番地9	0136-44-2224	0136-43-2031
空知	岩見沢西	斎藤 英基	068-0818	岩見沢市並木町30番地	0126-22-0071	0126-22-0071
道北	旭川工業	遠藤 康浩	078-8804	旭川市緑が丘東4条1丁目1-1	0166-65-4115	0166-65-4127
オホーツク	常呂	田邊 禎明	093-0210	北見市常呂町字常呂574-2	0152-54-2753	0152-54-2756
釧根	厚岸翔洋	長谷川智人	088-1114	厚岸郡厚岸町湾月町1丁目20番1	0153-52-3196	0153-52-3196
十勝	芽室	野村 秀一	082-0801	河西郡芽室町東めむろ1条北1丁目6番地	0155-62-2624	0155-62-2624
日胆	えりも	渡辺 敬	058-0203	幌泉郡えりも町字新浜208番地2	01466-2-2405	01466-2-4280

教頭が担当

教科部会	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
国語	石狩翔陽	仲尾 光康	061-3248	石狩市花川東128番地31	0133-74-5771	0133-74-8741
地歴・公民	有朋	佐藤 豊記	002-8504	札幌市北区屯田9条7丁目	011-773-8200	011-773-8300
数学	札幌南	山後 裕紀	064-8611	札幌市中央区南18条西6丁目1-1	011-521-2311	011-521-2316
理科	札幌藻岩	武田 幸大	005-0803	札幌市南区川沿3条2丁目1-1	011-571-7811	011-571-7814
保健体育	恵庭南	黒田 祥嗣	061-1412	恵庭市白樺町4丁目1-1	0123-32-2391	0123-32-5500
養護	札幌月寒	岡 香	062-0051	札幌市豊平区月寒東1条3丁目1-1	011-851-3113	011-851-3112
芸術	札幌南	磯部 康志	064-8611	札幌市中央区南18条西6丁目1-1	011-521-2311	011-621-2316
英語	千歳	楯石 保史	066-8501	千歳市北栄1丁目4-1	0123-23-9145	0123-23-2742
家庭	札幌東陵	影山 文那	007-8585	札幌市東区東苗穂10条1丁目2番21号	011-791-5055	011-791-5095
農業	真狩	中村 地平	048-1611	虻田郡真狩村字光6	0136-45-2357	0136-45-3514
工業	札幌琴似工業	佐藤 寿彦	063-0833	札幌市西区発寒13条11丁目3-1	011-661-3251	011-661-3252
商業	札幌啓北商業	梅澤 謙	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2021	011-591-2023
水産	小樽水産	岩岬 耕平	047-0001	小樽市若竹町9-1	0134-23-0670	0134-23-4553
情報	札幌北	前田健太郎	001-0025	札幌市北区北25条西11丁目1	011-736-3191	011-736-3193

[部会長校] 国語(岩見沢東) 理科(紋別) 保健体育(札幌東豊) 養護(石狩翔陽) 芸術(追分) 家庭(森) 情報(室蘭東翔)

◎令和6年度 会員登録者数一覧

	( 令和6年7月3日 現在 )														合計	前年 合計
	国語	地歴 公民	数学	理科	保健 体育	養護	芸術	英語	家庭	農業	工業	商業	水産	情報		
石狩	80	110	87	111	77	23	47	122	28	5	20	43	1	31	785	808
道南	11	8	13	9	6	3	5	19	8	7	5	9	37	4	144	152
後志	10	9	6	9	6	4	3	6	2	10	4	2	31	2	104	102
空知	4	6	6	9	11	5	6	8	6	10	3	5	0	1	80	85
道北	20	30	23	26	14	5	6	25	5	25	13	18	0	4	214	201
ホーツク	13	19	4	12	10	3	4	14	8	2	3	12	0	4	108	111
釧根	8	14	16	14	9	1	4	12	4	8	7	8	12	2	119	118
十勝	5	8	9	3	5	1	4	9	1	12	7	7	0	5	76	77
日胆	12	22	13	20	16	3	8	21	7	9	8	3	0	3	145	136
合計	163	226	177	213	154	48	87	236	69	88	70	107	81	56	今年度	1,775
昨年度	165	237	188	206	160	46	75	243	82	94	61	97	81	55	昨年度	1,790

◎会員数の推移

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
会員数	3,049	2,785	2,721	2,592	2,473	2,369	2,283	2,253	2,196	2,197	2,205	2,149	1,929	1,787	1,759	1,790

事務局から

会員の皆様には、いつも大変お世話になっております。高教研の昨年度の登録者数がおかげさまをもちまして前年度から増加をいたしましたのは、ひとえに会員のみなさまのご協力によるものと存じ、この場を借りてお礼を申し上げます。

昨今の社会情勢や学校を取り巻く環境の所為ばかりではないとは思いますが、そもその教員数の減少に加えて、冬季休業中の業務多忙で会になかなか参加しづらい状況があるのは哀しい時勢かと理解しております。ただ事務局から各支部、各教科部会へお願いしたのは、「各校 1 人の会員を増やしてください」というお話でした。今年度全道の高等学校・中等教育学校の数は 278 校あります。(R6.4.1 現在、北海道教育委員会の統計)ので、各校 1 人増が実現すれば 278 人の増が見込めて、それだけでも会の運営が充実します。また今年度の全体会は令和 7 年 1 月 8 日(水)という日程で、少し早い日程なので参加しやすいと思います。この日カナモトホールで全道の皆様にお会いできることを楽しみにしています。

発行 令和 6 年 7 月  
 北海道高等学校教育研究会本部事務局  
 〒064-8535  
 札幌市中央区旭ヶ丘 6 丁目 5 番 18 号  
 市立札幌旭丘高等学校内  
 TEL 011-513-2238  
 FAX 011-513-2244  
 Eメールアドレス [d-kokyoken@sapporo-c.ed.jp](mailto:d-kokyoken@sapporo-c.ed.jp)